

# 静かなる脅威 CRE 感染症

令和 6 年 5 月 15 日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和 6 年第 19 週分・5 月 6 日～5 月 12 日)

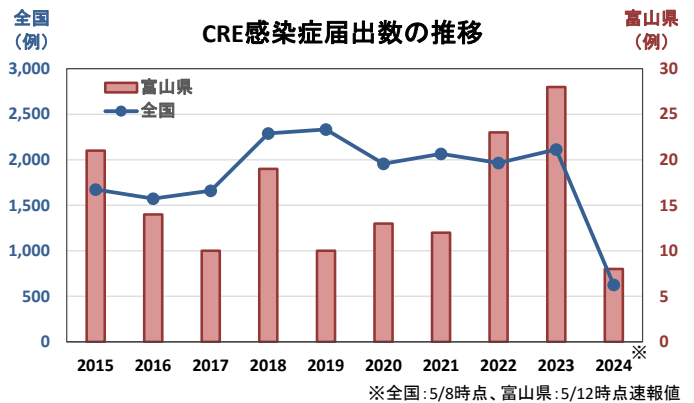
### 《 インフォメーション 》

#### ●カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) 感染症

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) 感染症の全国における届出数は、2015～2023 年において約 2,000 例前後で推移しました (図、折れ線グラフ)。一方、県内においては 2015 年から 2022 年までは年間 10～20 例程度で推移していましたが、2023 年は 28 例と増加しました (図、棒グラフ)。

CRE 感染症は、薬剤耐性菌による感染症の 1 つであり、カルバペネム系抗菌薬および広域 β-ラクタム剤に耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌等の腸内細菌目細菌による感染症の総称です。CRE の中でも、カルバペネム分解酵素であるカルバペネマーゼを産生する腸内細菌目細菌 (CPE) は、β-ラクタム剤以外の抗菌薬にも耐性を示すことが多く、CPE による菌血症は、カルバペネマーゼ非産生 CRE によるものと比較して治療予後が悪いと報告されています。また、CPE は多くの場合、菌種を越えて他の細菌に薬剤耐性を伝播させることも知られており、治療や感染対策を行う上で注視する必要があります。CPE はいくつかの種類があり、国内で多く検出される国内型、海外で広がっている海外型があります。海外渡航歴のある方において海外型の症例が報告されますが、最近では、海外渡航歴のない方からも海外型 CPE の症例が報告されています。

CRE 感染症は、主に免疫機能の低下した患者、外科手術後の患者、抗菌薬を長期間使用している患者などに多く、65 歳以上の成人が 8 割を占めています。呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や軟部組織の感染症、カテーテルなどの医療器具関連血流感染症など、様々な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因になります。また、無症状で腸管等に保菌されることもあります。健康な人では CRE 感染症を過度に心配する必要はありません。CRE など薬剤耐性菌が発生する原因の一つは、抗菌薬の不適切な使用です。抗菌薬は、医師や薬剤師の指示に従い、適切に服用しましょう。



### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2件 (①80歳代、男性 ②80歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 3件 (①60歳代、男性 ②70歳代、男性 ③90歳代、女性  
①～③全て肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (60歳代、男性)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (10歳未満、男性)
- 百日咳 1件 (10歳未満、女性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	7.07 (↑)	7.04
2 位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.75 (↑)	2.79
3 位	COVID-19	2.87 (↑)	2.06
4 位	咽頭結膜熱	1.68 (↑)	0.54
5 位	R S ウイルス感染症	1.32 (↑)	0.68
6 位	水痘	0.29 (↑)	0.18

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第 9 週分以降、URL が変わりました



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第19週 令和6年5月6日～令和6年5月12日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			2			2	6	2	15	3	20	46
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	3	2	7	2	12	26
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1			3	4
	四類感染症	E型肝炎											1	1
		レジオネラ症			1		2	3		1	7	1	10	19
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			2		6	8
		急性脳炎									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	6	10
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	2		1		4	7
水痘（入院例）								1	1				2	
梅毒										2	2	4	8	
播種性クリプトコックス症											1	1		
百日咳					1	1					1	1		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ	2		5	1	1	9	1,066	1,027	3,999	1,560	5,056	12,708
		COVID-19	0.29		0.38	0.14	0.07	0.19						
		27	14	45	22	27	135	1,091	675	2,062	1,093	1,861	6,782	
		3.86	2.80	3.46	3.14	1.80	2.87							
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	1	5	13	4	14	37	12	31	52	16	104	215
			0.25	1.67	1.63	1.00	1.56	1.32						
		咽頭結膜熱	3	23	13		8	47	59	166	512	27	501	1,265
			0.75	7.67	1.63		0.89	1.68						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	68	7	17	105	122	131	1,873	215	780	3,121
			1.50	2.33	8.50	1.75	1.89	3.75						
		感染性胃腸炎	21	17	26	13	121	198	465	489	1,059	590	2,328	4,931
			5.25	5.67	3.25	3.25	13.44	7.07						
		水痘		1	6		1	8	1	10	44	8	34	97
				0.33	0.75		0.11	0.29						
		手足口病		4	1			5	7	6	23	1	14	51
			1.33	0.13			0.18							
	伝染性紅斑			3			3			6	1		7	
			0.38			0.11								
突発性発しん		1	3		3	7	4	9	45	13	32	103		
		0.33	0.38		0.33	0.25								
ヘルパンギーナ	2					2	46				1	1	48	
	0.50					0.07								
流行性耳下腺炎									2	2	1	5		
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2	
	流行性角結膜炎				1		1	8	1	19	5	9	42	
				1.00		0.14								
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3	
	マイコプラズマ肺炎			1			1			1			1	
				1.00			0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							20	10	31	47	69	177	
	COVID-19による入院患者	3	2		3	5	13	78	92	59	102	262	593	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

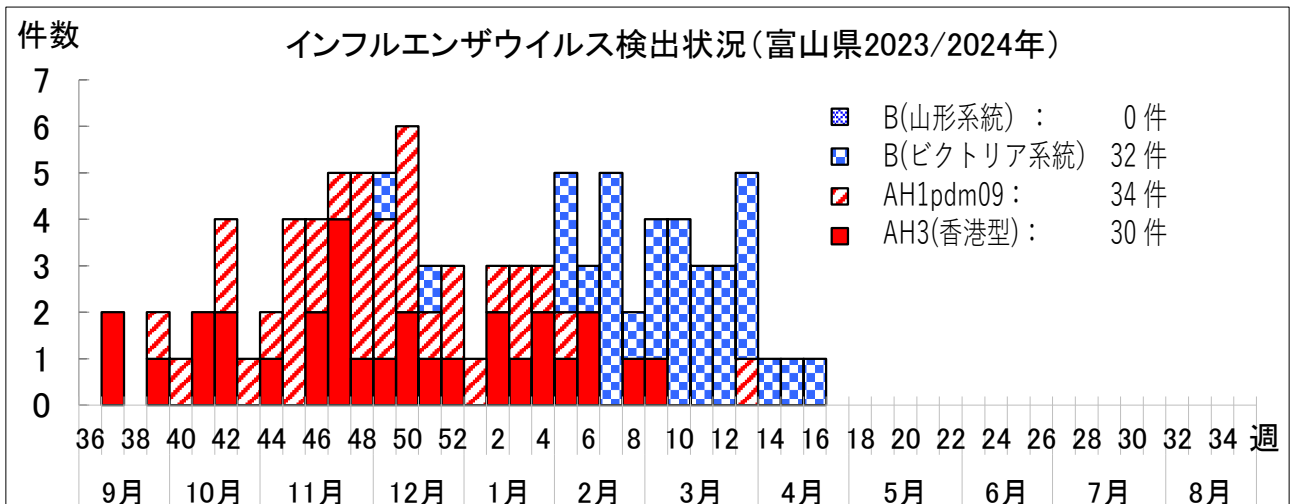
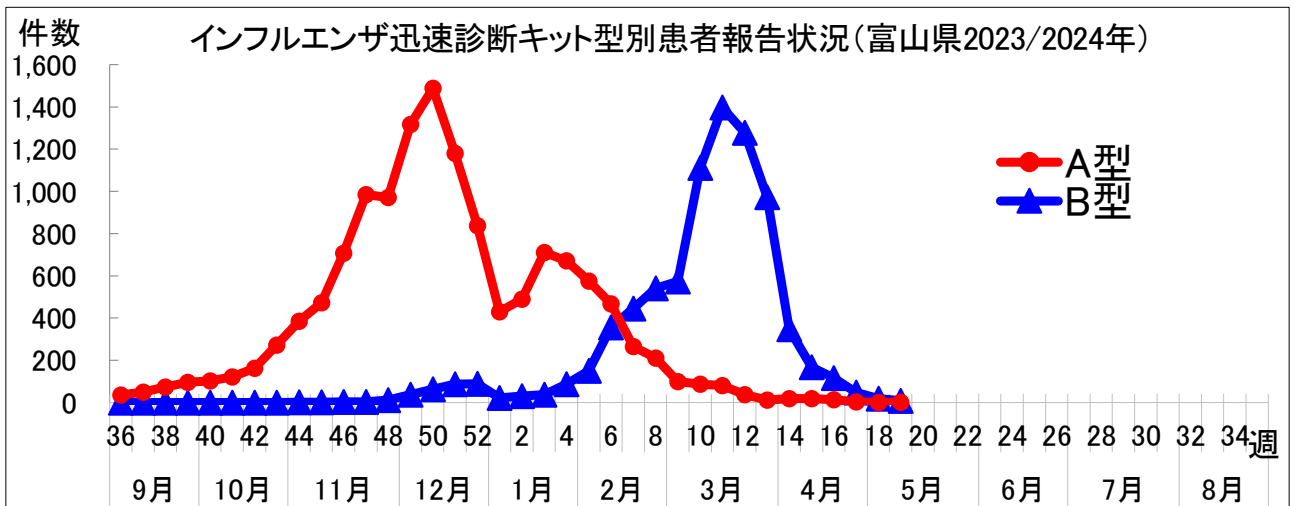
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が11.1%、B型が88.9%となっています。

### 第19週(5/6~5/12)：富山県 0.19人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	0	2	0	2
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	2 / 13	1	4	0	5
砺波	1 / 7	0	1	0	1
富山市	1 / 15	0	1	0	1
富山県	5 / 47 <sup>※1</sup>	1	8	0	9
富山県累計(2023年36週~)		13,451	8,011	1,355	22,817

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が5か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





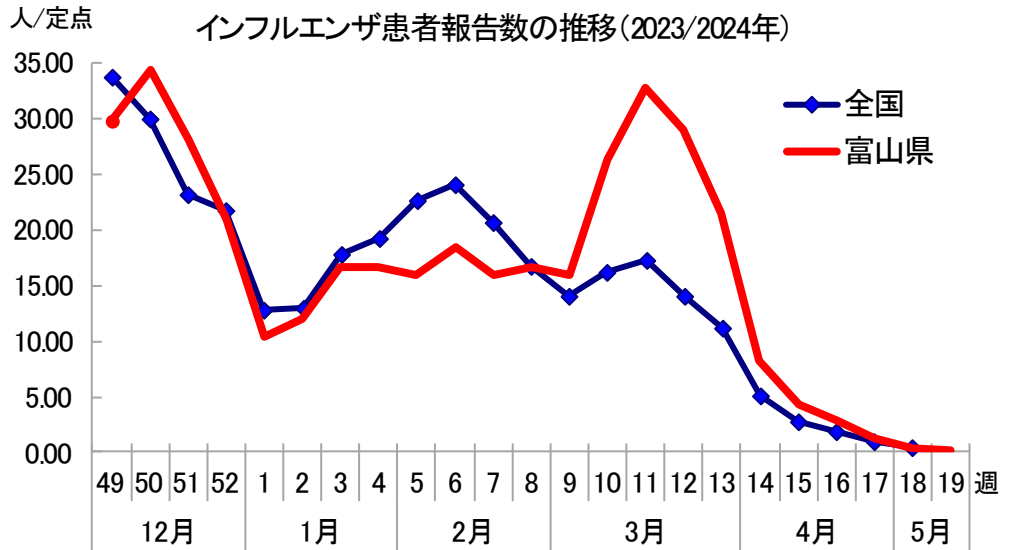
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第19週 (5/6~5/12) : 富山県 0.19人/定点

新川 HC (0.29)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.38)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.07)

全国の患者報告数は、第18週に0.45人/定点となり、前週から減少しました。

県内の患者報告数は、今週0.19人/定点となり、前週から減少しました。

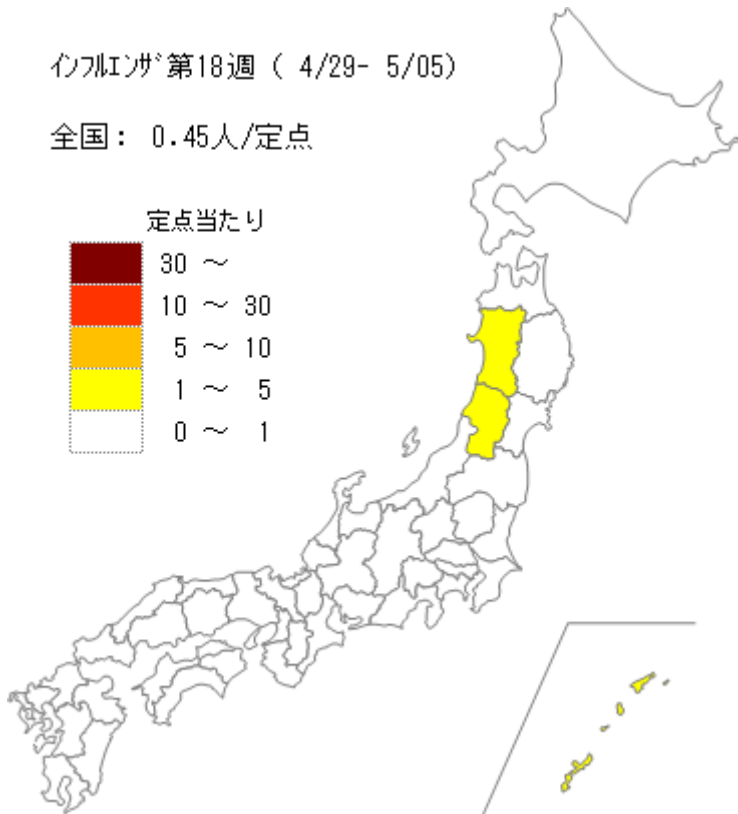


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第18週 (4/29~5/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.45 人となり、前週の 1.07 人より減少しました。46 都道府県で前週より減少しています。

インフル第18週 (4/29- 5/05)

全国：0.45人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.67 ↓	滋賀県	0.37 ↓
青森県	0.20 ↓	京都府	0.55 ↓
岩手県	0.79 ↓	大阪府	0.28 ↓
宮城県	0.53 ↓	兵庫県	0.25 ↓
秋田県	1.33 ↓	奈良県	0.31 ↓
山形県	1.53 ↓	和歌山県	0.12 ↓
福島県	0.62 ↓	鳥取県	0.34 ↓
茨城県	0.99 ↓	島根県	0.55 ↓
栃木県	0.26 ↓	岡山県	0.25 ↓
群馬県	0.47 ↓	広島県	0.28 ↓
埼玉県	0.33 ↓	山口県	0.90 ↓
千葉県	0.41 ↓	徳島県	0.22 ↓
東京都	0.35 ↓	香川県	0.32 ↓
神奈川県	0.30 ↓	愛媛県	0.62 ↓
新潟県	0.51 ↓	高知県	0.34 ↓
富山県	0.40 ↓	福岡県	0.20 ↓
石川県	0.23 ↓	佐賀県	0.10 ↓
福井県	0.44 ↓	長崎県	0.53 ↓
山梨県	0.83 ↓	熊本県	0.39 ↓
長野県	0.62 ↓	大分県	0.79 ↑
岐阜県	0.21 ↓	宮崎県	0.31 ↓
静岡県	0.38 ↓	鹿児島県	0.80 ↓
愛知県	0.38 ↓	沖縄県	2.26 ↓
三重県	0.21 ↓	全国	0.45 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年4月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		4月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		8	9			4		36	40
				0.33		2.00	0.90						
	性器ヘルペスウイルス感染症		2			5	7		5	2		27	34
			2.00			1.25	0.70						
基幹定点 (5定点)	尖圭コンジローマ					1	1				2	3	5
						0.25	0.10						
	淋菌感染症					1	1			2		6	8
						0.25	0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	2	2	8	14	8	3	10	4	35	60
		1.00	1.00	2.00	2.00	8.00	2.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症					1	1	1		2		3	6
						1.00	0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。